

令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業
里親・ファミリーホーム・施設のあり方に関する調査研究

児童家庭支援センターにおける 援助計画作成のポイント

令和8年（2026年）3月

株式会社NTTデータ経営研究所 ライフバリュークリエイションユニット

本資料作成の背景と目的

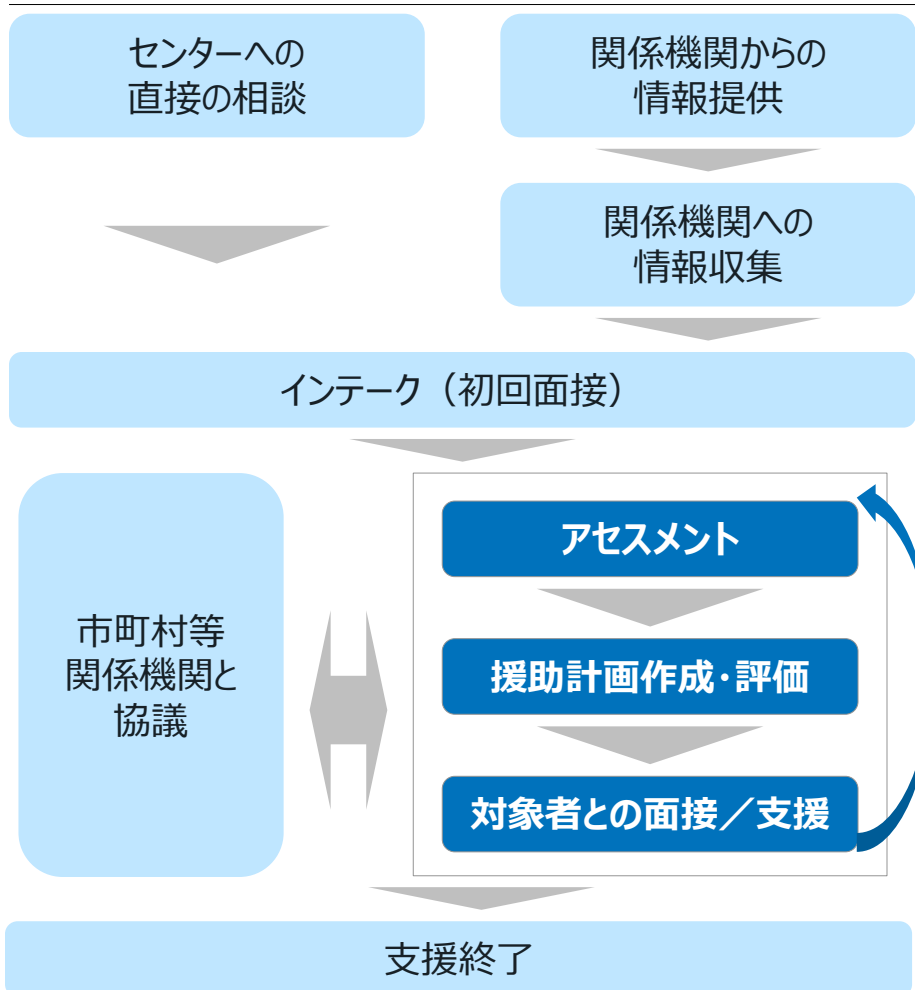
- 児童家庭支援センターは、地域の児童の福祉に関する各般の問題につき、児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行うとともに、市町村の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行うほか、保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行い、あわせて児童相談所、児童福祉施設等との連絡調整等を総合的に行い、地域の児童、家庭の福祉の向上を図ることを目的とする施設です。
- 児童家庭支援センターにおける支援に当たっては、計画的な援助の実施を図るため、児童及び家庭に係る援助計画を作成して支援を行うことが求められています。
- 今般、令和7年度事業でインタビューにご協力いただいた児童家庭支援センターの取り組みをもとに、援助計画作成のポイントを作成しましたので、各児童家庭支援センターでの援助計画作成にお役立てください。

※令和7年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「里親・ファミリーホーム・施設のあり方に関する調査研究」の調査報告書では、本資料作成にご協力いただいた児童家庭支援センターにおける支援のプロセスとポイント、使用する援助計画やアセスメントシートのフォーマット等を掲載しています。援助計画作成に際して、併せてお役立てください。

児童家庭支援センターにおける支援のプロセスとポイント

☞ 令和7年度事業でインタビューにご協力いただいた児童家庭支援センターの取り組みをもとに、支援のプロセスを整理しました。援助計画は単体で活用するものではなく、アセスメントや支援対象者との面接等と併せて活用します。

支援のプロセス



取り組みの内容

- 初回相談で聞き取った内容を記録に残す。
- 必要事項を面談録等に記載する。
- 初回の相談において必要な情報が不足する場合は、相談者やその家族と繋がりのある関係機関から詳細な情報を収集し、支援対象者が抱える課題等の理解を深める。
- センター内で定期的実施するケース会議等で、インテークの判断を行う。
- センターで支援する方針となれば、アセスメントを実施の上、援助計画を作成する。
- 短期・長期目標に沿って支援を展開し、定期会議で見直しの必要があれば、再アセスメントを行ない、現主訴をもとに短期目標と長期目標を見直す。
- アセスメント／援助計画の作成・評価／支援のサイクルを繰り返す。
- 定期的実施するケース会議等において支援の継続・終結の判断を検討。支援が終結可能と判断された際は、記録に終結の記録を残す。
- 引き続き、関係機関の見守り等が必要な場合は、関係機関と調整を行う。

取り組みのポイント

- ☞ 関係機関からの情報収集は当事者の欠点探しや疎外感を生むことがある。支援者は、問題を保護者と一緒に検討するスタンスを重視する
- ☞ 各関係機関がそれぞれ持ち得る家族の情報を収集するためには日ごろから関係機関との連携が求められる。
- ☞ 関係機関との連携会議の設定の他、市町村からの事業受託等が関係構築に寄与する場合もある。
- ☞ 家族支援には関係機関との連携が求められるため、家族を取り巻く環境を考慮し、様々な関係機関から情報収集することが重要。
- ☞ 援助計画は保護者や子どもと話し合いながら作成する
- ☞ 援助計画を作成するにあたり、適切なアセスメントの実施が重要となる。アセスメント、援助計画ともに面談初期段階では、家族の情報量に不足する事項が多数あるため、その都度、関係機関からの情報収集が必要。また、支援や面談、関係機関との連携会議を進める中で、各関係機関が持つ情報を集約しアセスメントシートをブラッシュアップすることが重要。
- ☞ 援助計画の質にばらつきが発生しないよう、援助計画作成時や変更時などには、センター内でのケース会議等により検討・共有することが求められる。
- ☞ 支援対象者の「強み」を記載することで、リスクだけに着目しない、家庭の特性を尊重した支援を提供することができる。

援助計画作成の意義

☞ 援助計画作成することには、大きく5つの意義があります。

家族の状況や 支援経緯の可視化

☞ 家族の状況に応じた適切な支援内容の検討が必要です。これまでの家族の状況の変遷や支援内容を可視化することができます。

センター内での 援助方針の共有

☞ 担当者が状況をどのように捉え、どのような見立てのもとで家族に関わっているか、児童家庭支援センター内でケース会議等により援助方針を検討・共有することが必要です。担当者の異動があった場合や、支援が終了後に再び支援を行う場合、これまでの経過や方針を踏まえ、児童家庭支援センターとして一貫性のある継続的な支援を実施できます。また、ケース会議等により専門職の視点も取り入れることができることから、多角的に援助方針を検討することもできます。

援助方針の 関係機関との共有

☞ 児童家庭支援センターとしての援助方針を関係機関に共有することが必要です。複数の関係機関が関与する場合でも、援助計画を通じて方針に関する共通認識が形成され、支援の重複や抜け漏れを防ぐことができます。

援助の評価や 見直しへの活用

☞ 定期的な支援の評価や見直しが必要です。援助計画は一度作成して終わるものではなく、評価と見直しを繰り返す中で、相談者や家族の意向に沿った支援が実施されているかを確認することができ、より効果的な支援の実施に向けたツールとして活用することができます。

説明責任の対応

☞ 児童家庭支援センターの役割は単なる「相談」に留まらず、相談者や家族のニーズに即した「支援」を行うことにあり、支援は一定の目的・方針に基づいて実施される必要があります。相談者に対して、ニーズに即した支援を行っていることの説明責任を果たすことができます。

援助計画における記載項目

☞ 令和7年度事業で本資料の作成にご協力いただいた児童家庭支援センターにおける援助計画等を勘案すると、「支援開始の経緯・主訴」、「現在の課題」、「支援目標」、「支援内容・方法」が援助計画において最低限、記載が必要な項目と考えられ、記載に当たってのポイントは以下のとおりです。

児童氏名	●● ●●	年齢	10歳	性別	男	学年	小学校4年
保護者氏名	○○ ○○						
援助計画							
支援開始の経緯・主訴	<p>相談に訪れた家庭がどのような状態に困っているのか、支援開始の経緯・主訴情報を記載します。</p> <p>(記載例) 児童の暴言・暴力や不登校の行動面について保護者より相談あり。関係機関との連絡調整や家庭支援を求めている。</p>						
現在の課題	<p>現在困難となっている状況や背景を記載します。</p> <p>(記載例) 本児の精神状態の不安定さや家庭内での対応の難しさが、安定した学校生活の継続が課題となっている。</p>						
支援目標	<p>児童家庭支援センターの支援を通じて、どのようなゴールを目指すのか、記載します。</p> <p>(記載例) 保護者との面談を通じて本児への対応方法（ペアレントトレーニング等）の実施により、親子関係構築を図る。本児の特性を考慮し、関係機関と連携しながら本児の生活の安定を図る。</p>						
支援内容・方法	<p>支援対象者にどのような支援を、どのように行うのか、記載します。</p> <p>(記載例) 保護者との定期面談を実施し、保護者の本児への接し方の向上を図るほか、医療機関・学校等の関係機関と情報共有を行いながら、伴走的な家庭支援を継続する。</p>						
	受付日	/	見直し日	/	終了日	/	

ポイント

- ☞ 本児・保護者の意思を尊重する
- ☞ アセスメントシート（本児及び家族の情報収集（健康・生活・運動・感覚・認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性）の活用など、家族の詳細な情報収集が求められるほか、家族と接点のある関係機関（検診、予防接種時の状況・保育園等（本児の在籍時の様子など）・学校等）から詳細な情報収集が必要なことに留意。

ポイント

- ☞ 本児の成育歴や家族状況、関わり方などの情報収集が必要なことに留意。
- ☞ 本児の課題の把握（どのような時・場面において、本児の精神状態が不安定になるかなどを聞き取る。また、不安定になる際の前後の様子など）に留意が必要。

ポイント

- ☞ 本児・保護者の意向を尊重した目標設定が求められるが、改善可能な課題を優先して記載する。
- ☞ 目標設定に当たっては、短期・長期目標において支援が実施されるよう計画的に取り組むことが必要。
- ☞ 本児・保護者との面談を通じて得た情報等を踏まえ、親子に必要な支援を検討するほか、家族と関わりのある関係機関の意向についても確認することが必要。

ポイント

- ☞ 関係機関も含め、情報共有や連携について共通認識を図る必要があるほか、定期的な計画の振り返りを行う必要。

△△児童家庭支援センター 援助計画

児童氏名		年齢		性別		学年	
保護者氏名							
援助計画							
支援開始の 経緯・主訴							
現在の課題							
支援目標							
支援内容・方法							
	受付日	/	見直し日	/	終了日	/	

※定期的な支援の評価や見直しが必要となるため、援助計画についても適宜、見直しが必要。